

活動組織の名称 ※ふりがなを忘れずに！		まきちいきしげんぼぜんかつどういんかい 牧地域資源保全活動委員会			
所在地		福岡県久留米市田主丸町牧地内			
取組開始年度		共同活動	平成19年度	向上活動	—
協定の対象となる資源					
	農用地	地目	田 (a)	畑 (a)	計 (a)
		協定農用地面積	5,177	1,039	6,216
		対象農用地面積	4,557	696	5,253
	農業用施設	開水路 (km)	パイプライン (km)	農道 (km)	ため池 (箇所)
		9.5	—	6.5	—
農村環境向上活動 (H23まで)として実施した取組 ・設定したテーマにO印	設定したテーマ	実践活動項目		(取組内容を具体的に)	
	①生態系保全				
	②水質保全				
	③景観形成・生活環境保全	景観形成のための施設への植栽等		水路法面や農道法面を活用した景観作物(コスモスや彼岸花)の植栽・保全	
	④水田貯留機能増進 ・地下水かん養				
	⑤資源循環				
地域の状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・牧地区は久留米市田主丸町の西部に位置し、稲作や野菜栽培、緑化産業を中心とした農業が盛んな地域である。かつては、農業者や非農業者が共同で「道路愛護」の名称で水路の清掃などの地域活動を実施してきたが、農家戸数の減少と高齢化、経済の発展に伴う就労の多様化が進み地域活動への参加意識が希薄化してきた。そのため、共用部の開水路、農道法面等の保全管理が困難になってきていた。また、施設の実質機能の保全管理だけでなく、潤いを与える、地域の自然環境保全や景観形成を求める価値観の多様化への対応も求められてきた。</li> </ul>			
活動や取組の内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民と農業者及び非農業者が一丸となって、自治会、老人会、婦人部なども組織ぐるみで農村資源の保全管理、景観形成及び投棄物回収処理など地域環境の保全管理を実施している。また、地域施設の維持管理も、全員参加の共同作業を年3回を基本に実施し、地域の資源として次世代に引き継げるよう活動している。更に、景観形成においては、祖先からの豊かな緑や綺麗な水、空気など生活に潤いを与える花々の農村環境を地域の資源として次世代に引き継ぐため活動をしている。</li> </ul>			
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・彼岸花の植栽を始めてから4年が経過して球根の増殖も進み、今年の秋には見事な彼岸花街道に育った。また、コスモス街道は婦人部の定期的な雑草手取作業で見事に開花している。幹線水路と脇道路間の法面の共用部など、従来では保全管理が充分に行えなかった施設に対しても、計画的な共同作業を実施することで保全管理が出来るようになった。</li> <li>・課題としては、まず1つ目に地域活動をリードする人材の育成が必要である。2つ目としては、近年農作業中の事故が全国的に増加傾向にあることから、共同活動を行う際に、事故が発生しないように活動に対する危機管理を徹底すると共に、構成員に対し研修を行い意識向上を目指したいと考えている。</li> </ul>			
取組を実施するにあたってのキーワード (5つ以内)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の融和</li> <li>・持続可能な地域資源の次世代への継承</li> <li>・明るく潤いのある地域づくり</li> <li>・世代間の交流</li> <li>・地域ぐるみの地域活動</li> </ul>			
将来の夢・展望		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域による共同活動で農地・水路・農道などの施設を永続的に保全管理を行う。自然環境や景観形成・保全活動を実践し地域の活性化や発展に努め、豊かな緑、綺麗な水、空気、潤いのある故郷を次世代に引き継ぎたい。</li> </ul>			
県内位置図		主な活動状況の写真			
					
(写真について簡単な説明)		左: 彼岸花街道の草刈り (9月上旬) 右: コスモス開花後の刈上げ (11月中旬実施)		左: 彼岸花街道脇の水路の異物撤去 右: 用水路の泥上げ (スコップによる泥上げと重機による収集・積込み)	
		婦人部員によるコスモス街道の雑草手取り作業 (8月下旬～9月上旬実施)			